

令和5年度 浜松修学舎中学校・高等学校学校評価 (学校関係者評価まとめ)

| 教育目標 | | 自分も仲間も「かけがえのない存在」であると思える生徒の育成 | | 学校評価委員の皆様へ 評価と意見の記入をお願いします。 ・評価のポイント A：達成されている（80%以上） B：ほぼ達成されている（50%以上） C：あまり達成されていない ・良い点を積極的に評価してください。 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--------------|--|-------------------------------------|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|------------|--|---|
| 教育方針 | | 1. 自他の生命を尊重し、互いの良さを認め合える生徒の育成 2. 時間を守り、姿勢を正し、授業に集中して取り組む生徒の育成 3. 自分の心や身体に関心を持ち、積極的に健康づくりをする生徒の | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本年度の重点目標 | | 本校で学ぶすべての生徒のために学校改革を具体的に推進する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 重点目標 | 評価項目 | 具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標 | 自己評価 | 成果及び改善点 | 評価 | | | | | | | | | | 平均 | 学校関係者からの意見 | | |
| ・本校で学ぶすべての生徒のために学校改革を具体的に推進する | ・浜松一番運動の推進 | ・浜松で一番挨拶の声が大きい学校にする | A | 今年度も来校者や近隣住民の方々等からお褒めの言葉をいただいた。登校時には校門に運動部員・教員が立ち、挨拶運動を実施している。自から挨拶できる生徒が確実に増え言っている。外来者等に対する生徒の挨拶は頑張って継続していく | A | A | A | A | B | B | A | A | A | A | A | A | A | ・近隣で元気な声を耳にします。 ・挨拶をしても返事を返さない生徒がいる。 ・生徒から挨拶を受けています。 ・生徒さんから挨拶してくれることに感動します |
| | | ・浜松で一番セルフエスティームを高める学校にする | A | 定期試験ごとに成績上位者や成績伸長者を掲示したり、学期末に学期皆勤賞、成績優秀賞・努力賞を表彰して、生徒を承認するように努めている。部活動やコンクールなどの入賞を終業式などで表彰。大会前には壮行会を実施して全校で激励する。教員は生徒の良い変化見付け、小さなことでもその都度承認して声を掛けている | A | A | A | B | B | B | A | B | B | A | A | B | ・更に見える化に取り組んでください。 ・小さな事でも成果ごとに褒める機会を増やしてください。 ・生徒の他者への親切など、評価して貰えることはとても自身に繋がると思っています。 | |
| | | ・浜松で一番感謝の気持ちにあふれる学校にする | B | 新入生ガイダンスで「幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになる」という思考を植え付けている。慰霊の日に「平和で勉強できる幸せ」を伝え続けた。教員と生徒の双方で「ありがとう」の心をより一層育てていく。 | | A | A | A | A | C | A | B | B | A | A | B | ・ボランティア等の大きな活動が見えてこない。 ・授業での「お願いします。」「ありがとうございます。」「はととても大切だと思います。」「我が子が在学中にも学校行事として「感謝する心」の大切さを教えて頂いたことに感謝しています | |
| | | ・浜松で一番整理・整頓が行き届いている学校にする | B | 全校清掃を帰りのSHR後に実施し、きれいに清掃された状態で翌日の授業に臨んでいる。掃除用具も一新し、モップによる廊下の水拭き・空拭きや階段の清掃を徹底している。 | A | B | A | A | A | B | A | A | A | A | B | A | ・校内・周辺ともに行き届いていると思います。 ・校舎はきれいになったので、5S等の維持が大切です。 ・校内はいつもきれいに管理されていると思います | |
| | ・退学者ゼロの学校にする | B | 生徒の心身の状態を掌握し、セルフエスティームを高め、自立度を向上させる | B | 退学者数は昨年度と比べると激減した。しかしながら精神的理由で退学していく生徒が目につくようになったので、養護教諭と連携を取り、カウンセラーによる教育相談で心のケアに取り組むように努力すると共に生徒の変化にすぐ対応しなければならぬ | B | A | B | B | B | C | A | B | C | B | C | B | ・生徒の表裏の差があることを意識して教育して欲しいです。 ・細かな心身状態のフォローが必要。 ・生徒目線に立って生徒の思いや意見を聞き入れる環境づくりに努めて欲しいです。 |
| ・プロとしての自己研鑽 | B | 校内外研修の実施による授業力の向上と職務査定定の厳格化 | B | 職員研修・公開授業によって、教員の研修の機会が多いが、研修の成果をもう少し可視化する必要がある。教員の妥協しない自己研鑽がさらに必要である。 | A | B | A | A | B | B | A | B | A | A | B | B | ・引き続き研鑽に努めて頂きたい。 ・学力を上げる方法、専門分野の先生（塾等）を呼んで授業を行った方が英語等の成績が上がるのではないかと。 ・教師の更なる専門性を高めてください | |
| ・進路100%の実現 | A | 授業の充実、模試の活用、検定資格の取得、進学補習・進路ガイダンス・外部講師による講座等の充実 | A | 進路実現のために休日補習などを行うなど進学・就職とも手をかけて指導している。生徒意識を向上させることが必要である。進学目標達成のために今以上にIT活用を研究する必要がある。 | A | A | B | A | B | A | A | B | A | A | A | B | ・看護科の1年生の評判があまり良くありません。 ・英検等専門資格へのフォローが少ない気がする。（現場指導で） ・英語授業の取り組みは、他者にも勧めたくなるシステムだと思います | |